



ぱんだ組 あにまる通信 NO.7



R4.10.26

秋になり戸外散歩へ出かける日も多くなってきました。子どもたちは散歩へ出かけることが大好きで、トンボやバッタを走って追いかけたり、ドングリ拾ったりと秋ならではの自然にたくさん触れて喜んでいきます。

小松運動公園にて



ドングリやしいの実を見つけると、「先生袋ちょうだい」と集めたドングリやしいの実を入れる袋を欲しい子どもたちです。袋や容器を渡すといっぱいになるまで集め「先生！見てー！」と嬉しそうに、話してくれています。「すごい！いっぱい集めたね」と言う満足そうな表情の子どもたちです。袋を持っていない子は、「ちょっとここに入れていい？」という友だちの持っている、袋に入れさせてもらい「ほら見て！いっぱいだよー」と友だちと協力し、集める姿も見られますよ。



「あったよ！見て！」



「どングりかわいいね♡」



かわいいエピソード

「先生無いね～」と木の枝で芝生を掘り、ドングリを探していました。土の中に、ドングリがあると勘違いしていたのかな～？と思いました！

「ここに入れてもいい？」



「いいよー」

みんなで拾ったしいの実を使ってどングりの製作をしました。

しいの実を使った製作

パレットの中に、4色の絵の具が付いたしいの実を用意しました。そのしいの実を使い、箱の中に入っている画用紙に、色付けしてみました。その中で、子どもたちなりに考え製作を楽しむ姿が見られました。



「手汚れちゃうよ～」

H君とSちゃんは絵の具で手が汚れるのが嫌で「汚れた～」と保育者に訴えていました。でも製作は楽しいようで続けたい…。「手洗ってもいい？」と保育者に聞き、こまめに手を洗いながらも、しいの実転がしを楽しんでいました。



S君とYちゃんは絵の具がたっぷり付いて、なかなか転がりにくいしいの実に苦戦していました。どうするのかな？と様子を見てみると、力強くブンツと箱を振り、勢いでしいの実を転がす作戦を思いついたようです。力強く箱を振っても、絵の具の重さでゆっくりとしか転がりませんが、画用紙の上に色が付き、嬉しそうでした。

Hちゃんは、2個のしいの実を一気に画用紙の上に乗せ、しいの実転がしをしていました。色が混ざってしまいましたが、「きれいにできた」と満足そうな表情で見せてくれましたよ。



「2個乗せよう」

絵の具の付いたしいの実を、手を汚さずどうやって色付けしようかと、考える姿がよく見られました。手は汚したくないけど、製作は楽しみたい…。という子どもたちの思いを読み取り、スプーンを用意してみました。



製作の様子を、後ろの方で見ていたS君とYちゃんが、スプーンが用意された事に気づき「やりたい！」と言いスモックを持ってきました。スプーンを使えば、手が汚れないという安心感があったのだと思います。絵の具の付いている、しいの実をスプーンですくい画用紙の上に乗せました。しかし、箱を振ってもなかなか色付きません。しばらくすると、箱を振るよりもスプーンでコロコロと転がした方がきれいに色づくことに気づきました。絵の具がたっぷり付いたしいの実を、スプーンで転がし画用紙いっぱいに、色を付けて楽しんでいました。



気温も低くなってきて、上着を着用し登園する子も増えてきました。子どもたちが自分で上着を掛けやすいよう、かけ紐やタグに丸紐を付けて下さい。(リボンやゴムは扱いにくいです)また、上着や衣服の記名が無いものも多く見られます。消えかかっているものや、記名の無いものには必ず記入の方をお願いします。

